

うちの あまと
【 未来賞 】 内野 天音

大好きなひいおじいちゃん

5年 内野 天音

じじとお別れがこんなに早くくるなんて思っていなかったよ。もっと一緒にいたかった。じじがいなくて悲しいけれど、たくさんの思い出を胸にぼくはがんばっているよ。野球や卓球、しょうぎで遊んだり、色んなところに旅行に行ったし、グルメだったじじとおいしいものをたくさん食べに行ったよね。

漢字のテストを勉強する時は必ずじじが隣に来て問題を出してくれた。

毎週金曜日にぼくがもらってくるクラスレターを読むのが好きだったじじ。

学校のスポーツデイやシェイクスピア劇も観に来てくれた。ぼくはじじのたった一人のひ孫だったからずっとそばにいれてうれしかった。

ひいおじいちゃんも一緒に住んでいる子がまわりにはいなかったけど、ぼくはじじからたくさん大切なことを教わったんだ。4年前、ガンが見つかってじじは手術をした。手術のおかげでじじは元気になったから長生きしてほしいと思っていた。

それからしばらくしてガンが骨に転移してじじは家族に心配かけないようにずっとがまんしていたんだね。食べるのが大好きだったじじの食欲がなくなってどんどんやせてしまった。痛みで歩けなくなって車イスでの生活。

じじと一緒に風呂に入るのは大変だったけど、体を洗ってあげるとじじは喜んでくれたからぼくはうれしかったよ。

じじの体重がどんどん軽くなって、トイレに行く時はぼくがかかえたりした。

今までじじがぼくのお世話をしてくれたからぼくは恩返しをしたかった。

じじが息を引きたる時、自宅で家族みんなで見守ることができて本当によかった。涙が止まらなかったけど、じじの姿が見えなくてもぼくたちのそばにいるって感じるができる。毎日じじとばばの写真に手を合わせてパワーをもらってる。

ぼくはじじと約束したから絶対ドクターになるよ。応えんしててね。

(福岡県 / 11歳 / 男性 / 小学5年生)